



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年11月2日

上場会社名 TOA株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6809 URL http://www.toa.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)竹内 一弘
 問合せ先責任者 (役職名)経理部長 (氏名)吉田 圭吾 (TEL) (078) 303-5620
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 平成29年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	19,281	△0.8	853	14.7	921	36.5	426	84.8
29年3月期第2四半期	19,432	△7.5	744	△38.1	674	△46.8	230	△66.8

(注) 包括利益 30年3月期第2四半期 846百万円 (—%) 29年3月期第2四半期 △1,077百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	12.60	—
29年3月期第2四半期	6.82	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第2四半期	53,381	42,597	76.0
29年3月期	54,294	42,307	74.1

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 40,546百万円 29年3月期 40,242百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
30年3月期	—	10.00	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

29年3月期配当金の内訳 安定配当20円 記念配当2円

30年3月期配当金(予想)につきましては、平成29年5月2日に「平成29年3月期決算短信」にて公表したとおり、安定配当20円に業績を加味して、連結配当性向35%を目安に決定いたします。

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	10.6	3,600	22.6	3,700	21.7	2,250	28.5	66.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

30年3月期2Q	34,536,635株	29年3月期	34,536,635株
30年3月期2Q	674,242株	29年3月期	674,135株
30年3月期2Q	33,862,504株	29年3月期2Q	33,862,630株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

当社は、平成29年11月21日(火)に機関投資家向け決算説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、国内では好調な企業収益や雇用環境の改善などを背景に景気は緩やかな回復が持続しましたが、海外では政治経済情勢への懸念があり、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、企業価値である「Smiles for the Public ——人々が笑顔になれる社会をつくる——」を実現するため、社会の安全・安心に役立てる製品やサービスの創造に注力しております。国内では、減災・防災市場での販売が好調でしたが、引き続き商品ラインアップの拡充に努めております。また、海外各地域での開発・生産・販売の推進を継続しております。

当第2四半期連結累計期間における売上高は19,281百万円（前年同四半期比△151百万円、0.8%減）となりました。利益については、販売費及び一般管理費の減少により、営業利益は853百万円（前年同四半期比+109百万円、14.7%増）、経常利益は921百万円（前年同四半期比+246百万円、36.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は426百万円（前年同四半期比+195百万円、84.8%増）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

（日本）

売上高は11,268百万円（前年同四半期比△456百万円、3.9%減）、セグメント利益（営業利益）は1,926百万円（前年同四半期比+247百万円、14.7%増）となりました。

自治体向けの防災用スリムスピーカーや商業施設向けの放送設備の販売が伸長した一方、セキュリティ商品の販売が減少したことで売上高は減少しましたが、原価率の改善などにより、セグメント利益は増加しました。

（アメリカ）

売上高は1,804百万円（前年同四半期比+198百万円、12.4%増）、セグメント利益（営業利益）は31百万円（前年同四半期比+6百万円、26.6%増）となりました。

アメリカで商業施設向けの放送設備や鉄道車両向けの販売が堅調に推移したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

（欧州・中東・アフリカ）

売上高は2,293百万円（前年同四半期比+45百万円、2.0%増）、セグメント利益（営業利益）は164百万円（前年同四半期比+13百万円、9.1%増）となりました。

為替円高による売上高の目減りはありましたが、欧州で非常用放送システムや南アフリカで空港や発電所向けの販売が堅調に推移したことなどにより、売上高、セグメント利益は増加しました。

（アジア・パシフィック）

売上高は3,289百万円（前年同四半期比+203百万円、6.6%増）、セグメント利益（営業利益）は341百万円（前年同四半期比+2百万円、0.7%増）となりました。

インドネシアやタイ、ベトナムでの地域商品の販売が堅調に推移しました。また、マレーシアで商業施設向けの販売が堅調に推移したこともあり、売上高は増加しましたが、販売費及び一般管理費が増加したことなどにより、セグメント利益は微増となりました。

（中国・東アジア）

売上高は624百万円（前年同四半期比△143百万円、18.6%減）、セグメント利益（営業利益）は107百万円（前年同四半期比△36百万円、25.6%減）となりました。

交通市場などへの販売は堅調でしたが、大口案件の減少により、中国での売上高は伸び悩みました。売上高の減少により、セグメント利益は減少しました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は53,381百万円となり、前連結会計年度末に比べ913百万円の減少となりました。資産の部における減少の要因は、売上債権の減少などによります。負債及び純資産の部における減少の要因は、仕入債務の減少、短期借入金の減少などによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は19,191百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円の増加となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

税金等調整前四半期純利益による増加921百万円、減価償却費430百万円、売上債権の減少額1,851百万円、たな卸資産の増加額△610百万円、仕入債務の減少額△432百万円、法人税等の支払額△533百万円などにより、営業活動による資金の増加は1,277百万円となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

生産設備や情報設備の取得による資金の減少404百万円などにより、投資活動による資金の減少は366百万円となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

配当金の支払405百万円、短期借入金の返済453百万円などにより、財務活動による資金の減少は909百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の通期の業績予想につきましては、「平成29年3月期決算短信」で公表しております当初予想から変更していません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成29年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	16,500	16,457
受取手形及び売掛金	9,941	8,084
有価証券	3,500	3,500
商品及び製品	5,547	6,076
仕掛品	842	830
原材料及び貯蔵品	2,438	2,493
その他	1,237	1,259
貸倒引当金	△76	△54
流動資産合計	39,932	38,648
固定資産		
有形固定資産	6,276	6,194
無形固定資産	1,510	1,498
投資その他の資産		
投資有価証券	5,631	6,030
投資その他の資産	962	1,012
貸倒引当金	△18	△3
投資その他の資産合計	6,575	7,039
固定資産合計	14,362	14,732
資産合計	54,294	53,381
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,926	3,465
短期借入金	1,292	801
未払法人税等	514	278
引当金	167	180
その他	1,984	1,688
流動負債合計	7,885	6,414
固定負債		
退職給付に係る負債	2,739	2,862
その他	1,362	1,506
固定負債合計	4,102	4,368
負債合計	11,987	10,783
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279	5,279
資本剰余金	6,866	6,866
利益剰余金	25,930	25,951
自己株式	△393	△393
株主資本合計	37,683	37,703
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,308	3,585
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△683	△644
退職給付に係る調整累計額	△66	△98
その他の包括利益累計額合計	2,558	2,843
非支配株主持分	2,065	2,050
純資産合計	42,307	42,597
負債純資産合計	54,294	53,381

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	19,432	19,281
売上原価	11,040	10,954
売上総利益	8,392	8,326
販売費及び一般管理費	7,647	7,472
営業利益	744	853
営業外収益		
受取利息	15	18
受取配当金	35	37
受取保険金及び配当金	25	26
その他	40	31
営業外収益合計	116	114
営業外費用		
支払利息	12	14
為替差損	166	22
その他	7	9
営業外費用合計	186	46
経常利益	674	921
税金等調整前四半期純利益	674	921
法人税等	263	340
四半期純利益	410	580
非支配株主に帰属する四半期純利益	179	153
親会社株主に帰属する四半期純利益	230	426

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
四半期純利益	410	580
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	166	276
繰延ヘッジ損益	—	△0
為替換算調整勘定	△1,692	26
退職給付に係る調整額	37	△37
その他の包括利益合計	△1,487	265
四半期包括利益	△1,077	846
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△969	710
非支配株主に係る四半期包括利益	△108	135

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	674	921
減価償却費	434	430
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	20	76
受取利息及び受取配当金	△51	△55
為替差損益(△は益)	136	11
支払利息	12	14
売上債権の増減額(△は増加)	1,820	1,851
たな卸資産の増減額(△は増加)	△748	△610
仕入債務の増減額(△は減少)	△446	△432
未払金の増減額(△は減少)	△243	△232
その他	△306	△204
小計	1,301	1,769
利息及び配当金の受取額	50	56
利息の支払額	△11	△14
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△343	△533
営業活動によるキャッシュ・フロー	997	1,277
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△366	△387
定期預金の払戻による収入	362	442
有形固定資産の取得による支出	△149	△183
有形固定資産の売却による収入	3	—
無形固定資産の取得による支出	△204	△221
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△15	△17
投資活動によるキャッシュ・フロー	△370	△366
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	206	△453
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の売却による収入	0	0
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△39	△0
配当金の支払額	△406	△405
非支配株主への配当金の支払額	△57	△48
財務活動によるキャッシュ・フロー	△296	△909
現金及び現金同等物に係る換算差額	△952	27
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△621	29
現金及び現金同等物の期首残高	17,913	19,161
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,291	19,191

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

・税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	日本	アメリカ	欧州・中東 ・アフリカ	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,725	1,605	2,247	3,086	767	19,432	—	19,432
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,853	13	4	1,933	1,824	6,629	△6,629	—
計	14,578	1,619	2,252	5,019	2,592	26,062	△6,629	19,432
セグメント利益	1,679	24	151	339	144	2,338	△1,594	744

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,594百万円には、セグメント間取引消去105百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,700百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期連 結損益計 算書計上 額(注) 2
	日本	アメリカ	欧州・中東 ・アフリカ	アジア・パ シフィック	中国・ 東アジア	計		
売上高								
外部顧客への売上高	11,268	1,804	2,293	3,289	624	19,281	—	19,281
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,039	26	1	1,719	1,808	6,595	△6,595	—
計	14,308	1,831	2,294	5,008	2,433	25,876	△6,595	19,281
セグメント利益	1,926	31	164	341	107	2,571	△1,718	853

(注) 1. セグメント利益の調整額△1,718百万円には、セグメント間取引消去△54百万円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△1,663百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。